

例会報告  
紫金山・アトラス彗星観望会  
佐賀市 (2024.9.21)

前日の雨から一転、天気予報は晴れだったので誰もが今日は見える！と期待に胸を膨らませていました。しかし、当日は今にも雨が降りそうな雲行き、心配した団員さんから今日は中止ですか？との問い合わせもあったくらいでした。

しかし観察までには雲が切れることを祈りながら例会が始まりました。始めは星空学習館の館長でもある副島のお話です。彗星と水星の違いから始まり、星の見え方や動きの違い、彗星とはどんな天体なのか、今回の彗星の特徴など詳しく教えていただきました。また、実際に観察するときのポイントや双眼鏡の使い方を交えていろいろと教わりました。雲っていて見つけにくいので、みんな真剣に聞いていました。

あたりが暗くなり、観測の時間になったので屋上に上がりました。天頂に近い夏の大三角は見えますが、肝心の西の空には厚い雲がびっしり。風が強く寒さに耐えながらそれから一時間ほど観察を続けました。粘った甲斐もあって、肉眼では見ることはできませんでしたが、時たま現れる雲の切れ間から自分たちの双眼鏡で見ることができました。学習館の大型の双眼鏡や天文台の望遠鏡では、もっと明るく、そして彗星の尾も観察できました。少しではありましたが、自分の目で見るのができたので良かったです。ちなみに来年の1月にも彗星を見ることができるとそうなので、今度こそ！という思いで一杯になったことでしょう。

(参加者 16 名)



副島館長による説明を聞く



双眼鏡の使い方をマスター



雲の切れ間から見えてくれればいいなあ



星空学習館の双眼鏡もスタンバイ